

第1章 調査の概要

1. 調査の目的

本市における転出超過、人口減少等の現状を踏まえ、転入・転出者に対し、転入・転出に至った理由や、転出先の自治体を選定した理由等を把握し、現状を克服するための施策立案の参考とするため、アンケート調査を実施しました。

2. 調査設計

	転入調査	転出調査
調査対象	平成 29 年 4 月 1 日から平成 31 年 3 月 31 日までの期間において本市に転入した 20 歳以上 46 歳未満の 2,000 人（無作為抽出）	平成 29 年 4 月 1 日から平成 31 年 3 月 31 日までの期間において本市から転出した 20 歳以上 46 歳未満の 4,000 人（無作為抽出）
調査方法	配布・回収ともに郵送	
調査期間	令和元年（2019 年）11 月 1 日から令和元年（2019 年）11 月 25 日まで	
調査項目	○回答者の属性 ○転入の理由 ○仕事 ○加古川市での生活	○回答者の属性 ○転出の理由 ○仕事 ○加古川市での生活

3. 回収状況

	配布数	回収数	有効回答率
転入調査	2,000 人	567 人	28.4%
転出調査	4,000 人	1,289 人	32.2%

4. 報告書の見方

- ① 図表上の「n」は、設問に対する回答者数（number of case）のことを指しています。
- ② 回答比率（%）は回答者数（n）を 100%として算出しています。小数点以下第 2 位を四捨五入しており、内訳の合計が計に一致しないことがあります。
- ③ 図表上の「MA%」（Multiple Answer の略）の表示は、複数回答形式の設問（回答選択肢の中から「あてはまるものをすべて」を選択する形式の設問）であり、複数の回答を求める設問では、回答比率（%）の計は 100.0%を超えます。